

# 代表質問

3月定例会では、会派を代表する4人の議員が、年度の予算などについて「代表質問」を行いました。質問者の文責により質問と答弁の要旨を紹介します。★詳しい質問内容は、会議録をご覧ください。

## 清風クラブ

### 魅力あるまちづくりに向けて

佐藤 貴子 議員



**問** 新年度予算についての考え方を伺う。

**市長** 令和2年度は「平塚市総合計画」ひらつかNEXT」が改訂基本計画として今後4年間の道筋を示す最初の年である。また、これまでの施策を更に進化させ、着実に進めるためにも大切な年である。2年度当初予算は、市民と約束した事業を着実に進めることで、本市が「もっと輝くまち」となり「全国に誇れるまち」となるため積極的な予算編成とした。子ども・子育て施策などを引き続き推進し、防災・減災対策のほか、文化芸術ホールや相模小学校などのインフラ整備に注力した。

**問** 行財政改革計画(2020-2023)では「民間活力の積極的活用による効率化」と「公共施設の総量削減による持続的管理」を引き続き優先課題としているが、その理由を伺う。  
**市長** 人口減少や高齢化が進展する中で、持続可能な行財政運営を展開していくには、優先課題に中長期的

な視点で取り組む必要がある。民間活力の活用では、平成30年3月に策定した「民間活力の活用に係る具体的業務の取組方針」に関する業務の進捗を図る。公共施設の総量削減では、公共施設等総合管理計画で掲げた10年間で延床面積総量の4%相当の削減に向けて取り組むを進める必要がある。このため、引き続き優先的に取り組むべき課題とした。

**問** 公共施設の総量削減では、地域住民の意見も大切である。4%削減の具体化にどう取り組むのか。  
**企画政策部長** 市内8会場で説明会を開催し、公共施設を取り巻く現状や課題、量を減らし時代に合った行政サービスを提供していく取り組みについて説明した。いろいろな意見が寄せられ、非常に有意義な説明会となった。今後は評価結果を踏まえて個別施設計画を策定していく。計画全体を作成する前の、各施設の方向性を判断する段階で、パブリックコメントや市の

考慮するの。  
**市長** 選定したプランでは夕日の絶景ポイントとなるデッキやテラス、くつろげる芝生広場などの公園機能を整備した上で、カフェやマルシェなど来園者が集い語らえる施設や、障がい者も楽しめるスポーツフィールドなどの場を確保する。また、その他の区域は既存樹木の活用や新たな植栽により、緑に囲まれた上質な空間や飛砂防備などの機能を整備することで、樹林帯を確保しつつ、にぎわいの創出を図っている。

## 龍城ヶ丘プール跡地

考え方を直接伝える場を設ける。そこでもらった意見を基に方向性を決定し、計画を策定していきたい。

**問** 1月末に公園施設の概要とイメージ図が公表された。樹林帯を維持してほしいという声と、魅力化してほしいという声がある。それぞれの声にどのように対応するの。  
**市長** 選定したプランでは夕日の絶景ポイントとなるデッキやテラス、くつろげる芝生広場などの公園機能を整備した上で、カフェやマルシェなど来園者が集い語らえる施設や、障がい者も楽しめるスポーツフィールドなどの場を確保する。また、その他の区域は既存樹木の活用や新たな植栽により、緑に囲まれた上質な空間や飛砂防備などの機能を整備することで、樹林帯を確保しつつ、にぎわいの創出を図っている。

## 施政方針から

市の最上位計画である総合計画の改訂に当たって、激動する国や社会情勢をどのように踏まえたか。

**市長** 出生率の低迷や高齢化の更なる進展による人口構造の変化に加え、自然災害も相次ぐ一方で、AIをはじめとした新技術が進歩

係る訴えを提起するため、地方自治法第96条第1項第12号の規定により、本定例会に議案を提出した。去年8月8日の記者発表以降、市民から何件の意見が寄せられ、それはどのような内容であったのか。

**市長** 2月21日現在、庁内全体で381件の意見ももっている。その内容として、議員を辞職すべきなどの元職員本人への苦情、元職員への処分や告発すべきなど厳しい対応を望む意見、個人情報漏えいしたことに対する不安や市の情報管理の甘さ、周知方法に関する意見をもらった。

**問** 訴えに対し、元職員から和解の申し出があった場合は、どう対応するのか。  
**市長** 損害賠償請求の訴えをすることにより、公判の中で不法行為の事実関係を明らかにし、司法の判断を仰ぎたいと考えている。

## 元職員・現職議員への訴えの提起

元職員によって個人情報報が持ち出されたことなどにより、本市は謝罪文書の送付の対応を余儀なくされた。このことで損害を被ったとして、損害賠償請求に

するなど本市を取り巻く状況は大きく変化しているとの認識で見直しを行った。  
**問** 社会情勢の変化に伴う新たな課題やニーズにどう応えたのか。  
**市長** 持続可能な開発目標であるSDGsに対する認識を示すとともに、高齢者数がピークを迎える2040年を見据え、持続可能な



## つらねぎ・無所属クラブ 市長に問う 輝く平塚を創るために

白井 照人 議員

行政運営と地域社会の実現を目指していく。  
**問** 今後の市政運営に対する決意を伺う。  
**市長** 人口減少による課題に向き合い、全体最適や、選択と集中の視点を持って市政運営に尽力する。

**令和2年度当初予算**  
**問** 当初予算の特徴的なものは何か、今後必要に

じ予算措置を検討する。  
**問** 市内経済の振興のための市内発注を図る取り組みについて伺う。  
**市長** 優先発注や適正な分離・分割発注を推進し、地元企業の受注機会拡大に努めている。これまでも、総合評価方式における市内事業者への優遇配点などを実施している。さらに大規模工事などでも、下請負いを必要とする工事や資材調達などで市内事業者へ発注する要請をしている。

**問** 歳入増に向けてどのような施策を展開するのか。  
**市長** 受益者負担の適正化推進事業で使用料や手数料、減免規定を見直す。また、債権徴収の推進やクラウドファンディングなどの取り組みを進め、自主財源の確保に努めていく。

## 家庭教育支援条例

家庭教育は教育の原点であり、教育の出発点である。子育て支援の充実とともに家庭教育支援も確固たるものにするべきである。まず親として成長するために学ぶ場が必要ではないか。

**市長** 育児を通じ子供への愛着を形成し、親の自覚を持ってもらうため、母親父親教室や育児相談、産後ケア事業などを行っている。  
**問** 親になるための学びを子供たちに提供すべきであると思うが見解を伺う。  
**市長** 体験的活動を通じ身に付けた知識や技能を家庭や地域で実践できるようにすることが、将来親になることを学ぶ機会と考える。

のほ何か。  
**市長** 子ども・子育て支援などを推進するとともに、安心・安全に暮らせるまちづくりを進めるため防災・減災対策の強化にも取り組む。また、文化芸術ホールや相模小学校などのインフラ整備のほか、2020東京オリンピック・パラリンピックに市民が関われるように予算を計上している。  
**問** 令和元年に新設された市長室で調査研究し、予算化されたものはあるのか。  
**市長** 当初に予算化したものは無いが、今後必要に

**問** 学校で道徳や社会性を教えることを求める声が多いが、どう考えているか。  
**市長** 道徳性や社会性の育成で最も基本的な要素は、人と人との関わり合いであり、豊かな人間関係を築くことも必要である。家庭や地域社会と連携して自ら感じ、考え、他者と対話し、人と関わる喜びを持つ児童・生徒の育成に努める。

**問** 全国で家庭教育支援条例を制定している。親たちからどう教育をしたらいいか迷うとの声を聞くので、まず問題抽出のためのアンケートを行ってはどうか。  
**社会教育部長** 各課で支援をしているが、新組織の立ち上げやアンケートの必要性、条例について研究しなければいけないと考える。

## 新型コロナウイルス

対策本部の設置経過を伺う。  
**市長** 新型コロナウイルス感染症対策調整会議を1月29日から3回開催し、2月26日に国の基本方針を踏まえ対策本部に切り替えた。

**問** 市民病院の感染病棟の病床数とその構造を伺う。  
**市長** 消化管感染症対応を目的に設計され、2床1室の病室が3室と、診察室などの諸室、独立した陰圧空調や排水処理装置がある。  
**問** 院内の他の施設を利用する可能性はあるのか。  
**市長** 第二種感染症指定医療機関であり、国や県の要請がある場合、空気感染隔離装置を使用して一般病棟を利用する可能性はある。

のほ何か。  
**市長** 子ども・子育て支援などを推進するとともに、安心・安全に暮らせるまちづくりを進めるため防災・減災対策の強化にも取り組む。また、文化芸術ホールや相模小学校などのインフラ整備のほか、2020東京オリンピック・パラリンピックに市民が関われるように予算を計上している。  
**問** 令和元年に新設された市長室で調査研究し、予算化されたものはあるのか。  
**市長** 当初に予算化したものは無いが、今後必要に